

【様式9】機能評価表	業務名	提案者(商号又は名称)
	栄養管理	

連番	分類	機能名	機能の種類	対応場所		機能要件	データ取込	判定 A:必須 B:重要 C:要望	用紙サイズ	専用用紙対象 (ドラインシーラ等)	印刷外部委託対象	EUC可否	実現方法	カスタマイズ費用(千円・税抜)	特記事項
				本庁	学校										
1	1 献立編成業務	1 データ管理	オンライン	○	○	各学校の端末で共通の献立を管理できること。		A							
2		2 データ共有	オンライン	○	○	2台以上の端末でデータを共有できる機能を有すること。		A							
3		3 食品情報	オンライン	○		栄養成分の計算値は、文部科学省科学技術・学術審議会資源調査分科会報告の「日本食品標準成分表2010」「日本食品標準成分表準拠 アミノ酸成分表2010」「五訂増補日本食品標準成分表 脂肪酸成分表編」との整合性が図られたものであること。 また、改訂等で内容に変更が生じた際は、保守の範囲内で対応可能であること。		A							
4		4 食材の登録	オンライン	○	○	加工食品は構成される食材の登録ができること。また構成食材による分類ができること。		A							
5			オンライン	○		1つの食材コードの対して、拠点毎に複数の業者の登録ができること。		A							
6			オンライン	○	○	食材を新規で登録する際、枝番登録ができること。枝番で登録された食材は基となる食材の下に連なって表示できること。		A							
7		5 食材の管理	オンライン	○	○	使用頻度が高い食材についてグループ管理が可能で、任意に登録・解除ができること。		A							
8			オンライン	○	○	食材を検索する際、食材番号、食品分類、使用日(複数期間選択可)からの抽出による絞り込み検索が可能なこと。		A							
9		6 アレルギー対応	オンライン	○	○	基本献立に加えてアレルギー対応などの3種類の特別食が作成できること。		B							
10			オンライン	○	○	アレルギーがある児童・生徒の情報を本システムで管理できる場合、CSV形式等でデータの取り込みが可能であること。	○	A							
11			オンライン	○	○	当該月分の献立において、個人のアレルギー情報に登録されたアレルギー食品を含んだ献立がある場合、個人ごとにその献立と含まれているアレルギー食品が記載された一覧を出力できること。		A	A4						
12			オンライン	○	○	上記帳票について、アレルギー登録がされている対象者の分を一括して出力または学校ごとに出力を選択可能で、それぞれ出力できること。		A	A4						
13			オンライン	○	○	献立表において加工食品に含まれる構成食材にアレルギー食品等が含まれる場合、アレルギー情報が自動的に明記されること。		A							
14			オンライン	○	○	システムに登録した食材情報でアレルギー食品を含む食材情報の一覧が出力可能であること。また、食材情報で備考欄がある場合は、あわせてその情報も出力可能であること。		A					○		
15		7 献立管理	オンライン	○	○	献立業務において一ヶ月のカレンダー表示をする。カレンダーには構成される料理をすべて表示し確認できること、また容易に日単位で献立のコピー、削除、入れ替え、移動などの編集が行えること。		A							

【様式9】機能評価表(栄養管理)

連番	分類	機能名	機能の種類	対応場所		機能要件	データ 取込	判定 A:必須 B:重要 C:要望	用紙 サイズ	専用用紙対象 (ドライヤー等)	印刷外部 委託対象	EUC 可否	実現 方法	カスタマイ ズ費用(千 円・税抜)	特記事項		
				本庁	学校												
16			オンライン	○	○	学齢区分ごとに食材の提供量の設定が可能であること。		A									
17			オンライン	○	○	献立業務において過去の献立を容易に取り込めること。	○	A									
18			オンライン	○	○	献立表において、献立を構成する食品名が3色および6群の区分によって分類された状態で明記されること。		A									
19			オンライン	○	○	6グループの献立を作成できること(小学校×2、中学校×2、西谷小中学校、養護学校)。		A									
20			オンライン	○	○	21において、6グループ間でカレンダー画面にて容易に献立のコピー、移動、入れ替えができること。		A									
21			オンライン	○	○	献立作成画面にて、6グループの献立内容の切り替えができること。切り替え後は料理、食品の追加、編集、削除		A									
22			オンライン	○	○	献立作成画面から食材のマスタ登録画面に1ボタンで移動できること。		A									
23			オンライン	○	○	献立作成画面で料理マスタの登録が可能なこと。また、既存の献立カードを編集した際、マスタへの更新が可能なこと。		A									
24			オンライン	○	○	献立ごとに保存食採取・保存期限・廃棄実施日の登録・修正・削除が可能であり、データ出力が可能であること。		B					○				
25			オンライン	○	○	本市で使用している献立カードを取り込むことができること。	○	A									
26			オンライン	○	○	献立カードはグループ(調理形態)ごとに管理できること。またグループは、2パターン以上の設定ができること。		A									
27			オンライン	○	○	献立ごとに作業上の注意事項のデータを追加・修正・削除ができ、管理できること。		A									
28			オンライン	○	○	献立カードとあわせて作業上の注意事項のデータを取り込むことができること。	○	A									
29			オンライン	○	○	献立ごとの作業上の注意事項のデータを帳票出力できること。		A	A4								
30	8	データ出力	オンライン	○	○	献立表において、csv形式やエクセル等で出力する機能を有すること。		A				○					
31	9	帳票出力	オンライン	○	○	本市の現業務で使用している帳票を出力できること(エクセル、PDF等)。(資料8 帳票サンプル等)		A	A4								
32			オンライン	○	○	出力される全帳票(PDFの場合)について、印刷前に印刷イメージが表示されること。		A									
33	2	入札および発注業務	1	データ管理	オンライン	○											
34			2	データ共有	オンライン	○											
35			3	グループ管理	オンライン	○											
36			オンライン	○													

【様式9】機能評価表(栄養管理)

連番	分類	機能名	機能の種類	対応場所		機能要件	データ 取込	判定 A:必須 B:重要 C:要望	用紙 サイズ	専用用紙対象 (ドライシール等)	印刷外部 委託対象	EUC 可否	実現 方法	カスタマイ ズ費用(千 円・税抜)	特記事項		
				本庁	学校												
37			オンライン	○		学校ごとに入札用のグループ分けができること。本市の場合、小学校2地区、中学校2地区の計4グループが必要となる。		A									
38			オンライン	○		入札業務において献立データより年度単位、学期単位、月単位での該当食材の抽出ができること。また各抽出単位より任意の期間を日単位で指定できること。さらに任意の複数の入札用グループで絞り込みができること。		A									
39			4 業者決定	オンライン	○		最低価格を自動判定して落札者とする機能を有すること。ただし、必要に応じて最低価格以外の業者を任意に選択して落札者とすることができること。		A								
40			5 物資関係	オンライン	○		業者毎に見積書が出力できること。また登録された入札グループの食材のみリストアップされること。		A								
41				オンライン	○		食材の発注について、発注分量の端数処理が複数パターン対応可能であること。		A								
42				オンライン	○		各学校の納入量を集計できること。また発注リスト表示において1画面で各学校の納入量および合計発注量が確認できること。		A								
43			6 帳票出力	オンライン	○		出力される全帳票(PDFの場合)について、印刷前に印刷イメージが表示されること。		A								
44			3 給食数の連携	1 データ取込	オンライン	○		学校給食費徴収システムで出力された食数情報を全校分一括で取り込めること。	○	A							
45					オンライン	○		取り込まれる情報は、基本食数の他に、牛乳が除去された人数、ごはん、パンが除去された人数、副食が除去された人数も取り込みが可能であること。	○	A							
46					オンライン	○		取り込んだ食数情報は、学校給食栄養管理システムの全業務(献立編成業務や物資の発注等)にも活用できること。		A							
47	2 データの入力、変更、削除	オンライン		○		給食数の連携が不可な時期は、栄養管理システムより独立した給食数の登録が可能であること。		A									
48	4 残量の集計業務	1 給食実施回数及び喫食数の管理	オンライン	○	○	学校給食業務で管理されている各学校の喫食数を取り込めること。 (①)	○	A									
49			オンライン	○	○	学校ごとに当該月の給食を実施した日の喫食数を管理でき、給食実施回数から平均喫食数を算出できること。		A									
50			オンライン	○	○	No.49のデータを一覧形式でデータ出力ができること。 (参考【資料8】帳票サンプル等 献立別給食実施回数)		A				○					
51		2 データの入力、変更、削除	オンライン	○	○	学校ごとに当該月の米飯、パン、牛乳、副食の提供回数を管理できること。(③)		A									
52			オンライン	○	○	小学校、中学校、養護学校別に米飯、パン、牛乳、副食の1人分の平均提供量を登録、変更、削除できること。 (④)		A									

【様式9】機能評価表(栄養管理)

連番	分類	機能名	機能の種類	対応場所		機能要件	データ 取込	判定 A:必須 B:重要 C:要望	用紙 サイズ	専用用紙対象 (ドライシール等)	印刷外部 委託対象	EUC 可否	実現 方法	カスタマイ ズ費用(千 円・税抜)	特記事項	
				本庁	学校											
53			オンライン	○	○	学校ごとに米飯、パン、牛乳、副食の残量を、日次で入力、変更、削除できること。また、当該日の喫食数から米飯、パン、牛乳、副食の一人あたりの残量も算出可能であること。(⑤)		A								
54			3 集計	オンライン	○	○	学校ごとの上記情報(①～⑤)が月次で集計され、表形式でデータ出力が可能であること。食数については、当該月の平均食数とする。(参考【資料8】帳票サンプル等_学校別残量集計表)		A				○			
55			オンライン	○	○	学校ごとの上記情報(①～⑤)が年次で集計され、表形式で確認できること。米飯、パン、牛乳、副食ごとに月次で集計した残量の合計を一月当たりの平均提供回数及び平均食数、1人分の平均提供量を乗じたもので除し、年間の残食率が学校ごとに算出可能であること。(参考【資料8】帳票サンプル等_学校別給食残量調査(残食率))		A								
56			4 データ出力	オンライン	○	○	集計したデータについて、本市仕様にcsv形式やエクセル等でデータ出力が可能であること。		A					○		
57	5 保守サポート	1 基本要件	オンライン	○		法改正は保守内で対応できること。		A								
58	6 ネットワーク	1 基本要件	オンライン	○		複数人利用するにあたり、ネットワーク対応可能なシステムであること。		A								